

授業概要

本講義は、会計基準の国際的統合化の実現に向けての努力の歴史、現状および将来の課題を学ぶものである。本講義の主な内容は、会計基準の国際統合の観点から、国際的統合を目指す国際的動向とその問題点についての解説、国際会計基準審議会（IASB）の国際会計基準（IAS/IFRS）の考え方やその特徴、また、その具体的な会計基準の解説などである。

授業計画

第 1 回	国際会計基準審議会の概要とその歩み
第 2 回	会計制度の国際的動向と日本の対応①
第 3 回	会計制度の国際的動向と日本の対応②
第 4 回	IFRS の基礎知識①
第 5 回	IFRS の基礎知識②
第 6 回	IFRS の基礎知識③
第 7 回	連結及び結合の会計処理
第 8 回	外貨換算の会計処理
第 9 回	貸借対照表項目①（資産・負債）
第 10 回	貸借対照表項目②（純資産）
第 11 回	損益計算書項目①（収益の測定と認識）
第 12 回	損益計算書項目②（費用の測定と認識）
第 13 回	従業員給付とストックオプションの会計処理
第 14 回	リースの会計処理
第 15 回	IFRS の将来像
第 16 回	定期試験

到達目標

経済経営のグローバル化に対応できるように、国際会計に関する高度の専門性と経済経営社会への関心や国際的な視野を広げることを意図している。

履修上の注意

- ・ 会計学関連科目（特に、会計学総論）を履修すること。
- ・ 複式簿記の原理を理解していることが望ましい。

予習・復習

授業の理解度を高めるために、レポートなどを通して講義内容に合わせて国際会計の関連用語を熟知させる。

評価方法

定期試験の成績（80%）、レポートの内容（20%）などにより評価する。

テキスト

- ・ 開講時に指示する。
- ・ 必要に応じて、資料を配布する。